

月例発信 《外国人介護人材の明日を創る》

テーマ：顧問就任にあたって

顧問

温井 史朗 氏



1949年12月30日生まれ。

大学卒業後、2年間、建築作業員から舞台の裏方、さらにセールスと様々な職業を経験した後結婚を契機に大学時代の先輩に勧められて大阪の私立桃山学院高校の英語科教諭となる。その間、長期海外留学を組み入れた国際コースの設置や中学校の創立に関わり、2009年より中高の校長及び学校法人の常務理事となる。

10年間にわたって社会福祉法人「関西いのちの電話」の相談員を務める。

2015年教育界を退き、日本アジア人財協会以外に次の職務に就いている。
OSAKAあかるクラブ代表理事／結婚トータルサポート協会専務理事／グローバルウェルネス専務理事（いずれも一般社団法人）／（株）ユカム取締役／陸上自衛隊中部方面総監民間オピニオンリーダー

あと本年3月「国内外の子どもたちの健全な育成」をサポートする一般社団法人Share One Clubを設立した。

<主な著作物>
速読英熟語／音読英単語（Z会出版）・えいご道場（ソフトバンク・セレクション）・超トレTOEICテスト（Walking Book）・教育いろは 唄 他

一般社団法人 日本アジア人財協会
(ACWA Japan)

理事長：小堀脩（京都商工会議所元専務理事・元公益社団法人代表）

専務理事：国際プロカー連盟局長 温井史朗

〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西3-16-36
シコービル6F
Tel:06-6373-9868 / Fax:06-6131-9966 /
Mail:nukui@acwa-japan.com
URL:http://www.acwa-japan.com

温井と申します。微力ではありますが、外国人介護人材研究会の有為な活動に少しでも有為な貢献ができればと願って、当研究会の顧問に就任させていただきました。

私が初めて海外人材というものに関心を持ったのは、長年にわたって勤めてきた教育界での仕事を終える時、たまたまフィリピン在住の友人から外国人人材の仕事に関わらないかという誘いを受けたからであります。その方には私の勤めていた学校が国際貢献の一環としてフィリピンの寒村にディケアセンターを創立する際にとてもお世話になり、その後もその活動を契機にして台風で甚大な被害を受けたフィリピンの学校の建て直しやインドの盲学校建設やバングラデッシュの飲料水用ため池の掘削などに寄与させていただきました。

そういう中で発展途上国への関心が培われてきた私は一般社団法人「日本アジア人財協会」を立ち上げました。そこで法人の活動を始めるに当たって、海外人材関係を学ぶためフィリピンへ当社団の理事長を中心としたメンバーでの研修訪問させていただきました。そこでお会いしたフィリピンの国会議員や警察幹部の方々からは、日本の技能実習生の扱いやEPA介護福祉士・看護師候補者の受け入れの問題点などに対しての非常に厳しい意見を伺いました。詳細については控えさせていただきますが、その場にいた訪問団全員が「何とかしなければいけない」という思いを共有できたのが何よりも大きな収穫でした。

家族のため、あるいは自分の将来のため、日本へのあこがれと期待を抱いてくる若者達を「日本嫌い」にさせて帰国させることは、わが国にとっても大きな損失になると危惧しています。特に「人が人を相手にする」介護分野での実習生を迎えるに当たっては、制度的な充実と実習制度の知識や適正な運用、そして受け入れ側の対応力が極めて重要な要素となってくることは間違いありません。そういった状況の中で当研究会が三上理事長をリーダーとして大きな役割を果たしていくものと確信しています。

当研究会が皆様のお力を借りて、今後ますます増加する介護関係の外国人技能実習生の適正な送り出しや受け入れや実りある活用を研究するリーダー的な組織に育っていくことを願っています。どうか宜しくお願い申し上げます。

温井 史朗